

日本心血管理学療法学会「COVID-19 関連情報特別チーム」  
海外の専門情報

No.12

調査者	渡辺 伸一、井澤 和大
情報ソースの刊行日	2020年4月10日
情報ソースの調査日	2020年4月20日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2020年4月26日
日本語タイトル	COVID-19 中の心臓リハビリ：遠隔医療、無給のヒーローが自宅で支援するためにステップアップ
情報ソース	L.A. McKeown. Cardiac Rehab During COVID-19: Telehealth, Unpaid Heroes Step Up to Help at Home. —Experts say there’s no better time than now to keep preventive CV care going and forge a new path for outpatient cardiac rehab.—
情報のカテゴリー	急性期の心リハ、回復期の心リハ、生活期の心リハ（介護・福祉系を含む）、包括的心リハ
発信地域	北アメリカ (米国)
DOI	なし
URL	<a href="https://www.tctmd.com/news/cardiac-rehab-during-covid-19-telehealth-unpaid-heroes-step-help-home">https://www.tctmd.com/news/cardiac-rehab-during-covid-19-telehealth-unpaid-heroes-step-help-home</a>
要約	<ul style="list-style-type: none"> <li>COVID-19により、多くの心臓リハビリ(CR)センターは、完全に閉鎖することを選択肢としている。</li> <li>在宅での適切な介入がなければ、患者を悪化させる危険性がある。</li> <li>CR センターへの入院患者が減少することは、患者にとって良い状況ではなく、医療者は、患者を在宅で管理する必要がある。</li> <li>医師による検査が実施できない場合でも、在宅での CR を積極的に行う必要がある。</li> <li>在宅 CR に関わるスタッフは、給料が支払われていない場合でも、在宅患者に連絡をとり、介護者、医師とともにケアチームとして責任を果たす必要がある。</li> <li>COVID-19 パンデミックは、CR に対する患者、医師、システム関連の障壁が、デジタルヘルスの大規模な導入により克服できることを示す機会となる。</li> </ul>
最も注目するポイント 理学療法にどのように役立つか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>入院患者の CR が困難となる場合、在宅 CR がより必要となる。</li> <li>遠隔での在宅 CR は、交通手段、時間など従来の CR の障壁を克服できる可能性がある。</li> </ul>